



「Catch Ball キャッチボール」

～地域に開かれた農場を目指して～

住 所：〒014-0054 大仙市大曲金谷町 26-9

電話番号：0187-63-2257・Fax 0187-62-3434

(大嶋農場:Fax 兼用 0187-68-2381)

U R L：<http://www.daino-h.akita-pref.ed.jp>

* 農場便りに関するお問い合わせ農場経営部までご連絡下さい。

◆生物工学部門より

大農祭当日、生物工学部門では、三年生の課題研究の中間報告と、ランの展示を行いました。このランの展示は、来年東京で開催される世界ラン展日本大賞2013にも出品予定であり、ひと足早く、地域の皆様へのお披露目となりました。また、田沢湖の水の中性化の実演実験も行い、生物工学で取り組みを紹介しました。生物工学では研究・実験を実施し、地域の皆様のお役に立てるよう、今後とも引き続いてこれらの課題に取り組みたいと考えています。応援よろしくお願いします。

◆施設野菜部門より

施設野菜部門では、ホウレンソウ、コマツナ、ハダイコンなどの葉菜類の栽培をしています。先日の大農祭の農産物販売では沢山の来校者の方々に購入していただきました。ホウレンソウは販売開始まもなく完売しました。

◆食品加工部門より 大農ブドウ液原液 製造工程(①～④)

大農祭一般公開(十月二十一日)に向け、大農ぶどう液の製造に取り組んできました。ぶどう果汁は、原料に用いる品種によって、その色が大きく異なります。大農ブドウ液は秋田県南の品種キャンベルを原料に赤色濃色系のぶどう液です。600mlを500円で販売しております。煮詰めたブドウをそのまま手絞りました素朴なジュースです。



①破碎後煮詰める



②袋詰め(85℃)



③手絞り



④6ヵ月間保存(酒石酸沈殿)

◆露地野菜部門より

現在、ネギは今月下旬から十一月の収穫に向け、軟白部を作るための土寄せ作業が行われています。追肥を伴い3〜4回もします。キャベツやハクサイは結球が進み、葉が固くしまったら収穫します。ブロッコリーはキャベツの仲間ですが、葉ではなく花のつぼみの部分を食するということを知っていますか？



◆林業部門より

先日は多くの先生方に栗の渋川煮を御試食して頂き、ありがとうございます。アンケートにもご協力いただき、今後にも活用させていただきます。今日はギンナンとナメコの販売を計画しています。生徒を見かけたら声をかけてください。秋の味覚を楽しみむのは短い時間と限りがあります。是非早い者勝ちでご賞味ください。

また、トラクター練習場、シイタケ栽培場の隣りの柿の実が大量につきました。渋を抜かないと食えることができませんが、どうぞ高枝切りばさみで収穫して食べてみてください。皆さんが普段食べる柿と違う品種ですので、一食の価値があるかもしれませんよ。